

熊本県立あしきた青少年の家

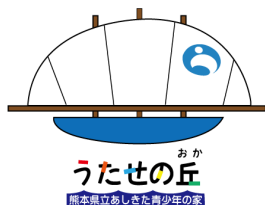


「あしきた」の頭文字【A】を凶案化したもので、豊かな自然に恵まれた美しい芦北海岸の海と空を青色で表現し、白色の波と水しぶきは、希望を持って前進しようとする青少年のあふれる若々しさと力強さを表現している。

熊本県立水俣高等学校 原田 純子

うたせの丘

(熊本県立あしきた青少年の家は、幅広い年代の方々に親しんでご利用頂くために、サブネームを設定しました。)



【ネームの由来】

- ① 大小様々な形からなる“うたせ船”の帆のように、幅広い年齢の方々が集う場所でありたいという思い。
- ② うたせ船のように、より芦北に根付いた施設へと成長していきたいという決意。

【デザイン】

まるみを帯びたシンプルなデザインのうたせ船のマークは、「丘」のイメージと、親しみやすさを感じてもらえるような、やわらかなイメージを表現。ロゴマーク内（うたせの丘）の様々な色は、利用者の個性を表現している。

もくじ

- ☆ もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
- ☆ あしきた青少年の家とは・・・・・・・・P 2
- ☆ 所内マップ・本館案内・・・・・・・・P 3
- ☆ 宿泊棟見取図・・・・・・・・・・・・P 4
- ☆ 利用のご案内・・・・・・・・・・・・P 5～6
- ☆ 利用上のお願い・・・・・・・・・・・・P 7～9
- ☆ 必要経費・・・・・・・・・・・・・・P 10～11
- ☆ 食堂の利用について・・・・・・・・・・P 12
- ☆ 健康・安全の確保・・・・・・・・・・P 13
- ☆ 緊急時の避難場所と避難経路・・・・P 14～15
- ☆ 本館非常口・消火器設置場所・・・・P 16
- ☆ 野外活動の留意事項・・・・・・・・・・P 17～19
- ☆ 主な研修活動の紹介・・・・・・・・・・P 20～22
- ☆ 出前講座・・・・・・・・・・・・・・P 23
- ☆ 入所式・退所式・朝のつどい・・・・P 24～25
- ☆ マリン活動・・・・・・・・・・・・・・P 26～28
- ☆ キャンプ場の利用について・・・・・・P 29～30
- ☆ アクセス・・・・・・・・・・・・・・P 31
- ☆ 別紙1～2・・・・・・・・・・・・・・P 32～33

あしきた青少年の家とは

きらめく青い海に、白い砂浜が映える豊かな海浜、海洋に恵まれた環境の中で、健全な青少年の育成を図るとともに、県民のみなさんの生涯学習の諸活動を支援するための施設です。

生涯学習社会における青少年教育施設として、学校やPTAでの利用はもちろん、サークルや職場、地域の子ども会、家族など幼児から高齢者まで、いろいろな仲間での利用ができます。

青少年の家では3つの「K」をめざしています。

- 共感** 自然に触れ、自然の中での活動を通し、自然・地域に共感し
- 交流** 友や仲間はもちろん、他の利用者や地域の方々との交流を深め
- 向上** いろいろな体験や学びにチャレンジし、自分自身を向上させましょう



生活のやくそく

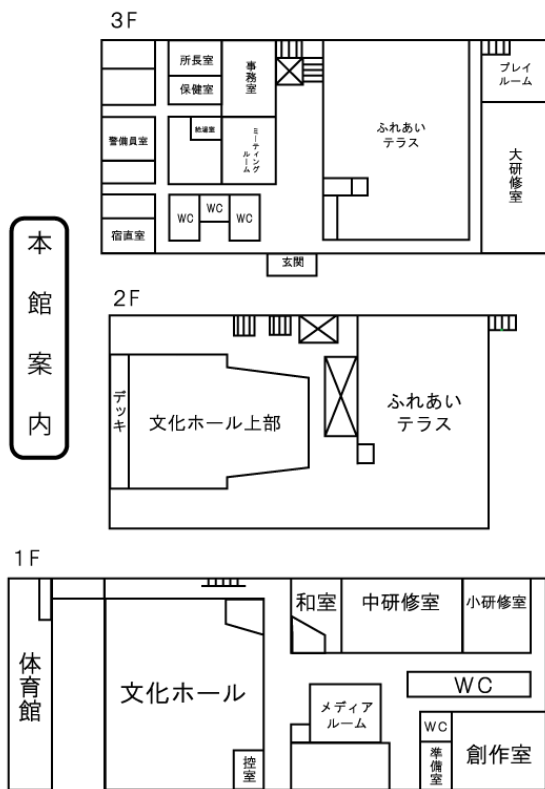
- ☆ 生活は自立あるものを・・・ ノーチャイム、ゆとりある生活（5分前行動）
- ☆ 研修は充実したものを・・・ 自主的な計画、活動
- ☆ 環境にはやさしさを・・・ 自然や環境への感謝

所内マップ



< 施設概要 >

- ☆ 敷地面積 約120,000㎡
- ☆ 建物面積 約9,200㎡
- ☆ 洋室宿泊棟 最大206人収容
- ☆ 和室宿泊棟 最大206人収容
- ☆ キャンプ場 最大100人収容
(4~6人用設営テント15張・ドーム5張)
- ☆ 文化ホール 最大500人収容
- ☆ グラウンド
- ☆ 体育館 バスケット1面分
バレー2面分
バドミントン6面分



利用のご案内

団体利用は5名以上、家族利用は3名（親子の場合2名）以上から利用できます。

このような団体にご利用いただいています。

- | | | | |
|----------|-----------|---------|-----------|
| ■ 集団宿泊教室 | ■ 幼稚園・保育園 | ■ 合宿・研修 | ■ PTA 行事 |
| ■ 企業研修 | ■ スポーツクラブ | ■ 福祉施設 | ■ 講演会・発表会 |
| ■ 子ども会 | ■ 家族 | ■ グループ | etc... |

利用までの流れ

①施設の空き状況の確認

- ご予約は、利用日の1ヶ月前までをお願いします。
- ご希望の日時の空き状況をお電話、又は事務室でご確認ください。

②仮申込みの受け付け

- お電話で利用団体名・活動内容・人数・代表者連絡先等をお聞きします。

③正式申込み

- 仮申込み完了後、利用日の約2ヶ月前に本所から利用申請書類を送付します（HPよりダウンロードも可能）。
- 必要書類を記入の上、ご利用3週間前までに提出をお願いします。
必要書類：利用許可申請書、利用者名簿、活動プログラム表、食事注文表、
利用変更許可申請書、食物アレルギー確認票、返信用封筒に82円切手を貼ったもの
(必要に応じて利用免除許可申請書、飲料水注文表)

④事前打ち合わせ

- 利用責任者の方を中心に来所していただき、利用の目的、プログラムや活動場所の確認等を行います。
- 小グループ、遠方からのご利用の場合は電話やFAXでの打ち合わせが可能です。

⑤許可

- 利用許可申請書を受け、本所から利用許可書等を送付します。

⑥ご利用日当日

- ご利用日当日は利用許可書をご持参ください。

入所から退所まで

①出発前の連絡

- 入所予定時刻より遅れる場合は、必ずご連絡ください。
- 人数に変更があれば、直ちにご連絡ください。
- ◎ （食事数変更は、入所前日17：00までにご連絡ください）

②入所手続き

- 担当者は事務室受付窓口においでください。
- プログラムの調整及び宿舎の確認を行い、施設での生活について簡単に説明します。
- 使用料の支払い方法の確認を行います。

③入所式とオリエンテーション（30分程度）

- 入所式は団体の進行で行ってください。☞（進行例P24）
- オリエンテーションは施設の目的や概要、利用方法や生活の仕方について説明します。

④研修活動

- 宿舎に移動し、研修ができる服装に着替えてください。
- 研修内容、部屋の変更、連絡等は随時行なってください。

⑤部屋点検

- シーツと枕カバーは部屋ごとに事前に返却してください。
- 忘れ物確認、宿舎の整理整頓等、各団体で点検を行ってください。
その後、職員による部屋点検を行います。
- ルームキーを職員に返却してください。

⑥退所式

- 退所式前に、名札ケース、利用団体アンケート用紙、ファイルを事務室へ返却してください。
- 退所式は団体の進行で行ってください。☞（進行例P24）

⑦退所手続き

- 利用変更許可申請書等の確認・手続き、利用料の支払いをしてください。

利用上のお願い

1 基本の生活日課

あしきた青少年の家では、基本の生活時間・日課が決められています。
基本日課表をもとに、プログラムの作成をお願いいたします。
また、朝のつどいには原則参加していただきます。

< 宿泊棟 基本日課表 >

時間	活動内容
6:30	起床
7:00	朝のつどい
7:30	朝食
8:45	部屋点検
9:30	午前の活動
12:00	昼食
13:30	午後の活動
16:30	代表者会
16:30~ 19:30	入浴（団体ごとに割り振ります）
17:30	夕食
19:30	夜の活動
21:00	就寝準備
21:00~ 22:30	引率者入浴時間
22:00	消灯・就寝

2 生活について

- 行動は機敏に、5分前行動をしましょう。
- 朝の起床のお知らせ（音楽の放送）はしますが、本所はノーチャイム制ですので、時間を守り自主的な行動をしましょう。
- 本館は靴（下履き）をご使用ください。
- 体育館を利用する場合は、必ず体育館用シューズをご持参ください。
- 野外活動の時は、活動内容や気候に適した服装で、帽子やタオル、軍手や雨具（雨合羽）の準備をしておいてください。
- 使用した研修室及び用具の後始末をしてください。
（机・椅子・黒板・運動用具の整理、戸締まり、体育館の清掃、グラウンドの整地 等）

- 宿泊室では、下履きは靴箱に整理してください。
(洋室宿泊棟では、白いテープの手前で靴を脱いでください。)
- 入浴と食事は、団体ごとに定められた時間内ですませてください。
(団体が複数の場合は、調整します。)
- 洗面用具、石けん等のお風呂セットは、各自でご持参ください。
- ドライヤーは各自でご持参ください(各宿泊部屋につき1台使用可能です)。

飲食について

- 食堂に入る際は、宿泊室などで手洗いとうがいをすませてください。
- 食堂での食事はセルフサービスです。食後はテーブルを台拭きで拭き、床に落ちた食べこぼしを捨ててください。
- 食べ残しがないようにしましょう。
- 飲料水の補充は、各宿泊棟に設置してある冷水機をご利用ください。

退所時について

- 宿泊室を退出の際は職員が部屋点検を行いますので、代表者は必ず同伴してください。
- 冷暖房及び照明のスイッチを切ってください。
- 寝具は、次の利用者が気持ちよく使えるよう、部屋の表示に従ってたたんでください。
- ゴミはお持ち帰りください。
- 忘れ物の確認をしてください。
※団体の責任者は、利用した宿泊室及び研修室の最終チェックをしてください。
- 利用団体アンケート、名札ケース、ルームキー等を返却してください。

安全・防犯について

- 防犯対策のため、施設内に監視カメラを設置しています。(画像を閲覧する場合があります。)
- 避難経路・非常口は、各自で確認してください。
☞別紙1「不審者対策について」(P32)をご覧ください。

3 お願い

- 「貴重品の管理徹底」「整理整頓」をお願いします。
部屋を離れる際は、貴重品は必ず身につけておいてください。
現金・貴重品については、事務室の金庫にて、団体毎お預かりすることもできます。
- 受動喫煙の防止を定めた「健康増進法」に従い、喫煙は定められた場所でマナーを守って行ってください。ご協力をお願いします。



- 飲酒について
当施設では、原則「飲酒禁止」としています。

- 自動販売機について
 - 購入した商品は宿泊室への持ち込みは禁止です。
 - 立ち飲み、歩きながら飲むなどの行為はしないでください。
 - 缶やペットボトルは、自動販売機横のゴミ箱へ捨ててください。



- 洗濯機について
22時（消灯）まで利用できます。洗剤、ハンガー等をご準備ください。



- 持ち込んだゴミについて
持ち込んだゴミは全て持ち帰りをお願いします。弁当空や野外炊飯で出たゴミも含まれます。

- 冷房・暖房について

○冷房		○暖房	
1 使用期間	6月15日～9月30日	1 使用期間	11月15日～3月15日
2 使用時間	19:00～22:30	2 使用時間	19:00～22:30

※外気温や気候によって変更する場合があります。
※冷暖房使用中と就寝時間以降は、部屋の扉や窓を閉めるよう、お願いいたします。

- 支払いについて
施設利用料の支払いは、現金支払いまたは後日振り込みとなっております。
領収書を分けられる場合は、事前にお知らせください。

- 引率者の外出について
児童、生徒だけを施設に残して外出しないようお願いします。

- 本所ではエコ活動推進に努めています。
研修室、宿泊室、トイレ等の節電・節水にご協力ください。

- 団体の別室が必要な場合は、ご相談ください。

- シーツ・枕カバーは、16:30～各宿泊棟 1F リネン室前のテーブルに準備してあります。
各団体でお取りください。

- 退所日は、シーツ等を、8:30～9:30リネン室付近のバスケットに返却してください。

❗ 持参品について ※名前のご記入をお願いします。

- 野外活動にふさわしい服装（長そで・長ズボン・防寒・トレパン・トレシャツなど）
- 着替え □ 帽子 □ タオル □ ハンカチ □ ちりがみ □ 虫よけスプレー
- 体育館シューズ □ 洗面用具（石けん・シャンプー含）
- ナップザック □ 雨具（雨合羽） □ 筆記用具 □ 水筒 □ 健康保険証（写し）
- 軍手 □ 常備薬（必要な人）
- その他必要なもの
 - ★カッター、ペーロン・・・運動のできる服装、靴
 - ★カヌー・・・濡れてもよい服装、かかとの固定できるサンダル
 - ★キャンプ場での宿泊・・・懐中電灯、毛布・寝袋など



必要経費

1 施設利用料

区分			使用料の額	
			一般	高校生以下
宿泊を伴う施設等利用	宿泊棟泊	1人1泊につき	1,090円	410円
	キャンプ場泊	1人1泊につき	310円	100円
宿泊を伴わない施設等利用		1人1日につき	150円	50円
文化ホール		1団体1時間につき	1,540円	
マリン活動研修船艇利用		1人1回につき	50円	

☆ 文化ホールに関しては、事前準備も使用料が発生します。

☆ 小学校就学前児童の「施設利用料」は、かかりません。

2 キャンプ場利用料

区分		使用料の額	
		一般	高校生以下
宿泊を伴う施設等利用	1人1泊につき	310円	100円
宿泊を伴わない施設等利用	1人1日につき	150円	50円
薪代	炊飯用 一束	150円	
	キャンプファイヤー用1組	5,000円	
	ボンファイヤー用1組	1,000円	

☆ 「利用料」には、「貸出用具料」を含みます。

☆ 「貸出物・持参物」については、P21をご確認ください。

3 食事代（平成27年度より、新料金となっています）

区分		料金	
		小学生以上	就学前児童
食事代	朝食	420円	360円
	昼食	570円	470円
	昼食（注文弁当）	570円	470円
	夕食	770円	620円

☆ 食事数(申請後)の変更は入所前日17:00までをお願いします。本所へご連絡ください。

4 材料代利用者負担

材料	金額	材料	金額
プラホビー	100円	新聞紙エコバック	20円
ホワイトホビー	150円	マイ箸作り	50円
ホットホビー	150円	リース作り	100円
ミニ焼き杉	80円	キャンドル作り	100円
切り絵	150円	焼杉	100円
流木ストラップ	50円		

5 洗濯代

区分	金額
シーツ洗濯代	150円

6 使用料免除者について

〈免除できる者〉

①手帳の交付を受けている者 →

- 身体障がい者手帳
- 療育手帳
- 精神障がい者保健福祉手帳

②特定の介護者（手帳交付されている者1名につき1名）

- 下記の表にあたる等級の手帳をお持ちの方は介護者（1名）も免除となる。

（これ以外の方は本人のみ免除）

身体障がい者手帳	療育手帳	精神障がい者保健福祉手帳
以下の表の級別に該当する障がいを有する者	A1、A2	1級
以下の表の左欄に掲げる障がいを2つ以上有する者		

〈身体障がい者手帳について〉

障がい区分・級別

障がいの区分		障がいの級別
視覚障がい		1級から3級までの各級及び4級の1
聴覚障がい		2級及び3級
肢体不自由	上肢不自由	1級、2級の1及び2級の2
	下肢不自由	1級、2級及び3級の1
	体幹不自由	1級から3級までの各級
	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい	上肢機能障がい 移動機能障がい
内臓障がい	心臓機能障がい	1級、3級及び4級
	じん臓機能障がい	1級、3級及び4級
	呼吸器機能障がい	1級、3級及び4級
	ぼうこう又は直腸の機能障がい	1級及び3級
	小腸機能障がい	1級から3級及び4級
	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい	1級から4級までの各級
	肝機能障がい	1級から4級までの各級

※ 必要経費（P9）の1施設利用料、2キャンプ場利用料（薪代を除く）のみ免除されます。

※ ご不明な点がございましたらお問合せください。

食堂の利用について

1 食事の料金および提供時間帯

	料 金	提供時間帯	200名以上の場合（2交代）
朝食	未就学児 360円 小学生以上 420円	7:30 ~ 8:10	7:30~8:10 / 8:20~9:00
	未就学児 470円 小学生以上 570円		
昼食	未就学児 470円 小学生以上 570円	12:00 ~12:40	12:00~12:40 / 12:50~13:30
夕食	未就学児 620円 小学生以上 770円	17:30~18:20	17:30~18:20 / 18:30~19:20

2 食物アレルギーへの対応について

食物アレルギーに関しては、「食物アレルギー確認票」に必要事項をご記入の上、**3週間前**までにあしきた青少年の家まで郵送してください。また、特に相談が必要な場合は、「食物アレルギー確認票」を提出後、あしきた青少年の家へ連絡してください。

3 食数の変更・キャンセルについて

【連絡方法】 利用団体から**直接、あしきた青少年の家へ**連絡してください。

その後、**食数変更済みの食事注文表**をFAXで送付してください。

⇒ あしきた青少年の家 電話番号（0966-82-3092）

Fax 番号（0966-82-3094）

【受付時間】 **食数変更及びキャンセルの受付は、原則的に前日の17時00分までとします。**

ただし、大幅な食事数の変更については、原則として利用日の5日前までとします。

※上記受付時間以降の変更およびキャンセルについては原則的に全額いただくこととなります。

4 弁当・お茶について

(1) 昼食は食堂食と同額で注文弁当も対応しています。その際は食事注文表の弁当欄に食数を記入し、**受け渡し場所・時刻も記入してください。**

(2) 注文弁当には**パックのお茶（200ml）**が付いています。

5 ゴミの処理について

(1) 利用団体の持ち込みによる**ゴミは持ち帰り**とします。

(2) 注文弁当の空容器は、**受け渡し場所にて弁当の業者が回収**します。

健康・安全の確保

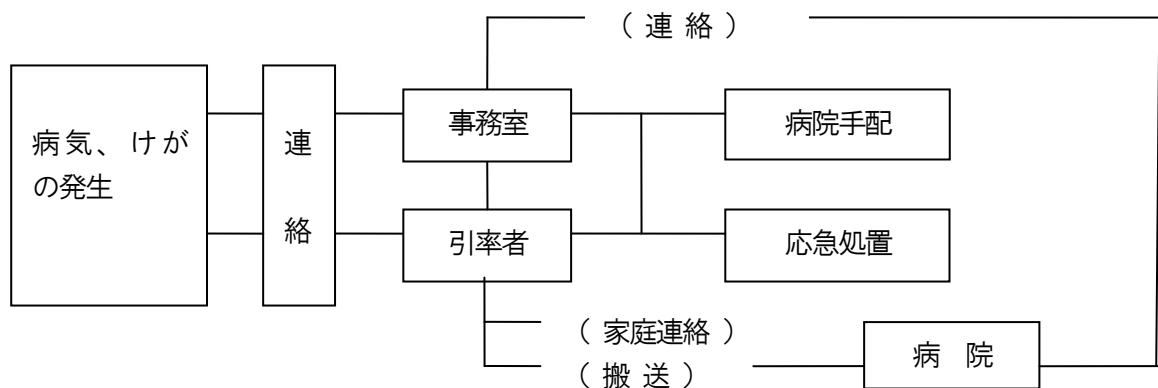
青少年の家の利用では、家庭や学校・職場などを離れて宿泊を伴う研修を行いますので、健康管理及び安全のため、以下のことに十分配慮してください。

- ① 不注意による事故が発生しないよう十分気をつける。
- ② 宿泊が各階にまたがる場合は、引率者は各階に宿泊し、指導ができるようにしておく。
- ③ 体調を崩さないために、消灯及び起床時刻を守り、睡眠時間の確保に努める。
- ④ 非常時に備えておく。
 - 避難経路を確認しておく。最終避難場所は原則として「グラウンド」とする。
 - 非常時には、引率者は所内放送や職員の指示に従い、自団体の研修生を誘導する。
 - 避難後、班長は班員を確認し団体責任者に連絡、団体責任者は自団体の人数を確認したうえで、青少年の家職員に報告する。

⑤ 保険証（写し）を持参する。

⑥ 病気及びケガの対応

救急薬品は、各団体で持参してください。持病のある研修者がいる場合は、事前に団体で把握して、必要な準備をしてください。



芦北・水俣・八代地区医療機関一覧表

病院名	科名	電話番号	住所	備考
井上病院	小児科	0966-82-5865	芦北町佐敷280-1	
井上医院	内科・外科・ 胃腸科・皮膚科	0966-82-2503	芦北町佐敷167	*血清あり
宮島医院	外科・整形外科	0966-82-2254	芦北町佐敷348-1	*血清あり
竹本医院	小児科・内科	0966-86-0075	芦北町湯浦218-3	
芦北とりかい眼科	眼科	0966-82-5881	芦北町芦北2413-1	
あしきた歯科医院	歯科	0966-82-3161	芦北町芦北2386-1	
水俣市総合医療センター	救急指定	0966-63-2101	水俣市天神1-2-1	*血清あり
岡部病院	救急指定	0966-63-3311	水俣市桜井町3-3-3	*血清あり
熊本労災病院	救急指定	0965-33-4151	八代市竹原町1670	

救急車要請：119番

熊本県立あしきた青少年の家：0966-82-3092

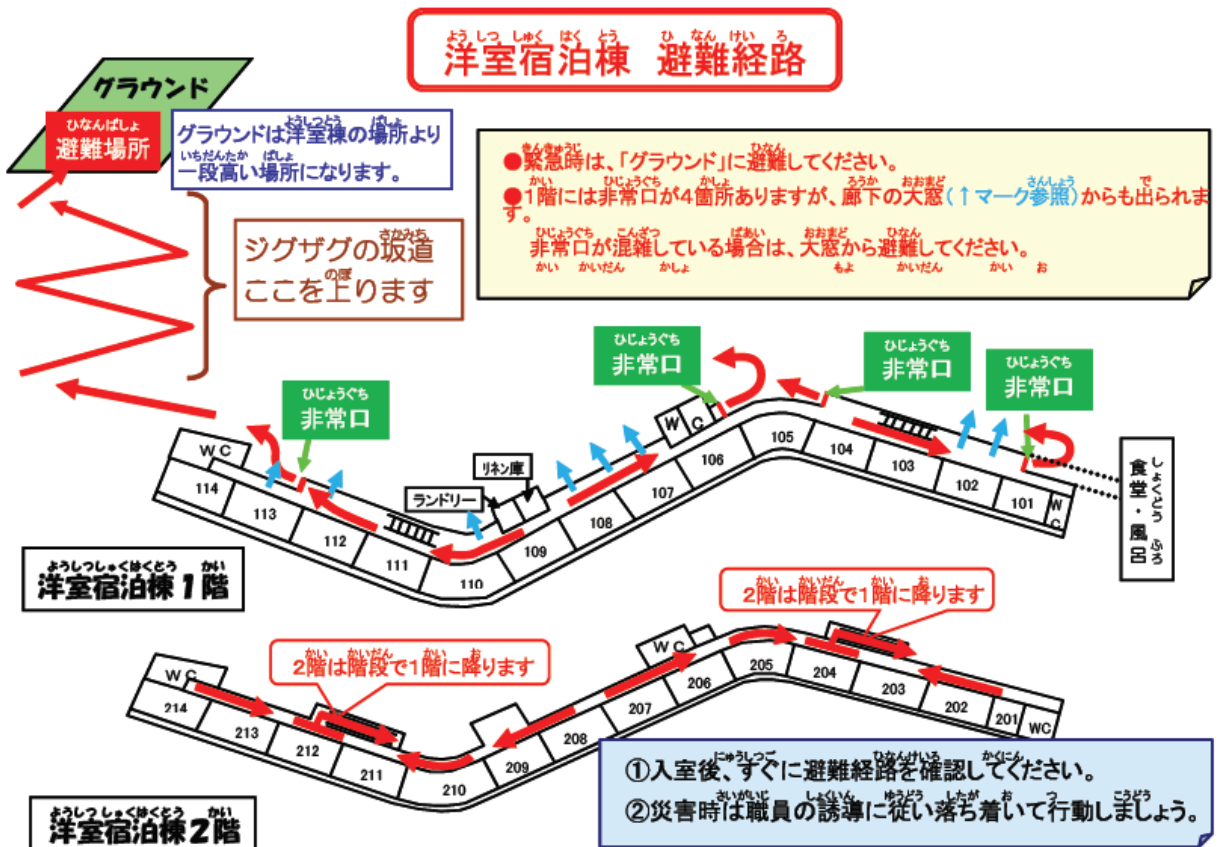
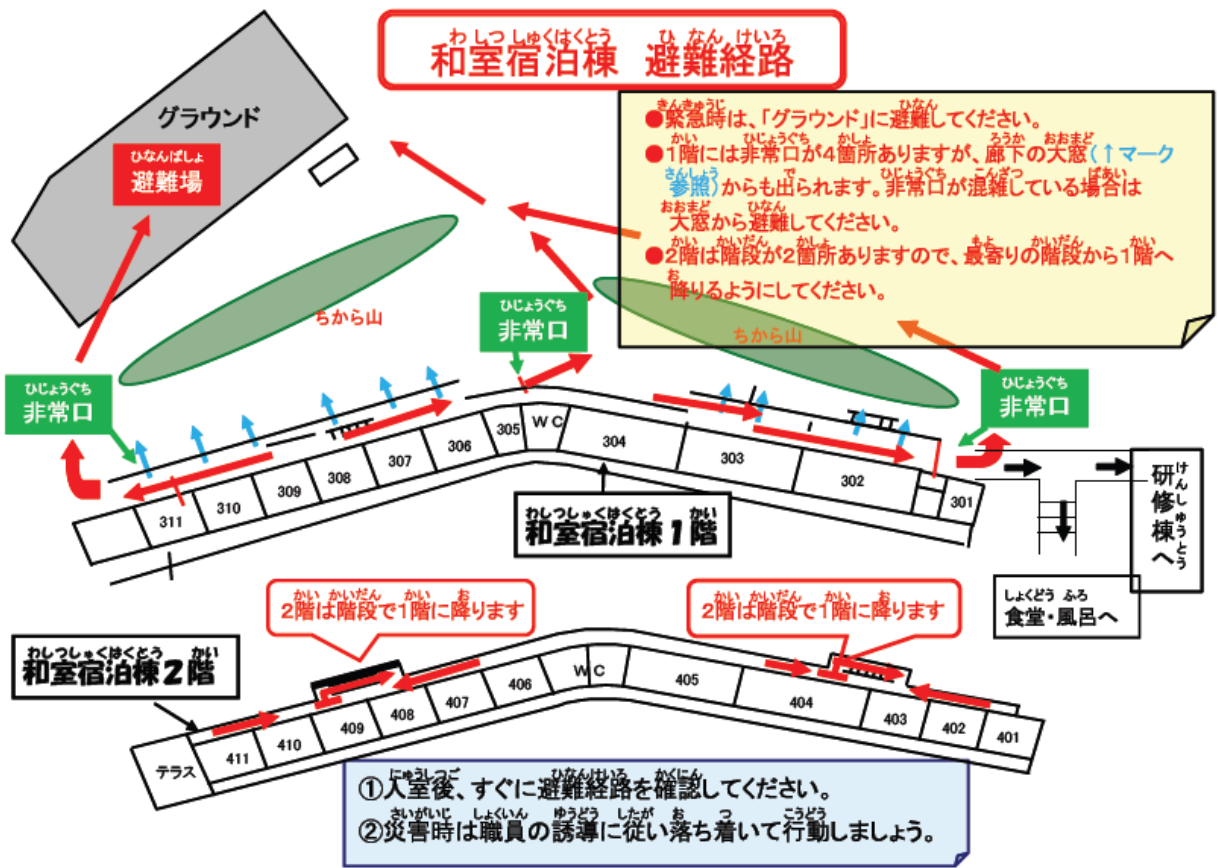
緊急時の避難場所

火災や地震などの緊急時においては、原則として「グラウンド」を最終避難場所とします。避難場所を「グラウンド」以外の場所にする場合は、引率者は所内放送や職員の指示に従い、自団体の研修者を誘導してください。

あしきた青少年の家 敷地全体図



原則として、グラウンドへ避難します

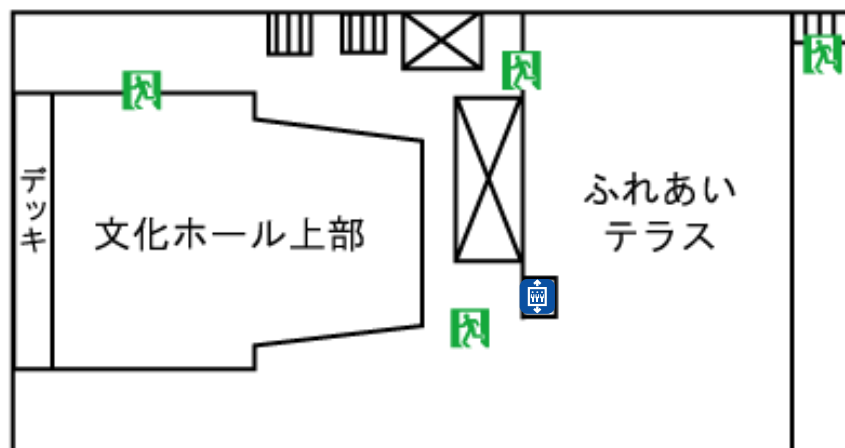


本館非常口・消火器設置場所

3F



2F



1F



野外活動の留意事項

楽しい野外活動も、安全上の注意を怠ると悲しい事故につながる危険が待ち受けています。事故が起きると、被害者が辛い思いをするばかりでなく、主催者（指導者）側への責任問題へと発展することもあります。安全管理に対する正しい理解と具体的な対策をしておくことで、事故を未然に防ぎましょう。

○ 安全管理の基本的な考え方

- ・ 想定できる危険を予知し、そのための対策を徹底的に行いましょう。
- ・ 万が一の時を想定して対策を練っておくとともに、引率者に対する教育を徹底して行いましょう。
- ・ 参加者には自分の身の安全は自分で守ることを徹底させ、「自己責任」の考え方で様々な活動に臨むということを身につけさせましょう。
- ・ 参加者が未成年の場合は、保護者に活動の趣旨、内容などきちんと伝えたくて参加してもらいましょう。

○ 参加者自身に安全対策の意識を

- ・ 野外の活動では、子どもたちの中に危険を予知する能力、危険を避ける技術や行動力・態度などが、実体験をとおして身に付く絶好の機会です。「危険だからやめなさい」ではなく、参加者自身にどこにどんな危険がひそんでいるのか、何が危険なのか、どうすれば防ぐことができるのかなどについて、あらかじめ考える機会をつくったり、主体的に身を守る意識を持たせたりして活動に入りましょう。

○ 様々な危険

- ・ 動植物が原因（毒ヘビ、ハチ、ムカデ、ハゼ、カヤ、マダニ、ツツガムシなど）
- ・ 気象条件（天候の急変、落雷、強風、台風など）
- ・ 地形的条件（転落、落石、急斜面、岩場など）
- ・ 水的条件（水温、水深、水流など）
- ・ 活動技術（道に迷う、転ぶ、落ちる、溺れるなど）
- ・ 用具の操作技術（切り傷、やけど、刺し傷など）
- ・ 疲労や心理的要因（判断ミス、パニック、過度の興奮など）
- ・ 心身の健康状態と衛生管理（発熱、生理痛、便秘、下痢、食中毒など）
- ・ 指導者側の過失（無理な計画、下見の未実施、引率者相互の共通理解不足など）
- ・ その他（移動の際の交通手段など）



○ 事前にしておくこと

- ・ 綿密な計画案及び安全上のチェック
- ・ 下見の実施と自然の家職員との打ち合わせ
 - ◎時期 : 計画作成段階（1ヶ月前）で最低1回は実施し、できれば直前に再度実施することをお勧めします。
 - ◎下見を行う引率者 : 引率者全員が揃って行うことが理想的です。できない場合は、ビデオやカメラなどの画像をとおして後日確認するなどしましょう。
 - ◎下見のポイント : コース及びエリアの確認・コース上想定される危険と対処方法・引率者の配置・車両輸送路の確認・救急医療機関の確認
- ・ 計画の再点検
- ・ 参加者及び参加者の保護者への事前説明会の実施

※保護者説明会がどうしてもできない場合は、文書での説明と参加にあたっての同意を得ておきましょう。

- ・ 傷害保険への加入
- ・ 救急医療品の準備
- ・ 緊急体制の整備とその運用及び救急処置についてのリハーサル
- ・ 引率者全員での安全管理上の最終確認

○ 実施中の安全管理

- ・ 気象条件の把握
(現在の状況の把握、予報、過去 1 週間の天候 (土砂崩れや落石の予知))
- ・ 危険箇所の現状確認
- ・ 移動の際の安全管理
- ・ 参加者の人数及び健康状態の把握
- ・ 特別に配慮を要する参加者の把握
- ・ 引率者の配置と円滑な連絡
- ・ 指導者自身の安全管理と健康管理
- ・ 万が一の時を想定して冷静に判断できる体制

○ 万が一の時の対応

- ・ 冷静に判断する
- ・ 無理をせず自分自身の安全管理を忘れない
- ・ 事故者以外の人たちの安全管理をする
- ・ 周囲の状況や事故者の様子を把握し、直ちに何をすべきか判断し行動に移す
- ・ 団体の責任者及び自然の家への連絡を行い、状況によっては指示を仰ぐ

○ 応急処置

- ・ 傷口の消毒
 - ① 水で洗い流す
 - ② 消毒・殺菌をする
 - ③ 傷口の保護をする
- ・ 出血を止める (止血法)
 - ◎ 傷口をおさえる
(ひどい出血でない限り、清潔な布またはハンカチやタオルで傷口を強く圧迫する。通常、この処置でかなり効果がある)
 - ◎ 傷口を高く上げる
(出血が止まらない場合は、傷口をおさえたまま心臓より高く上げる)
 - ◎ 局所的に血液の流れを止める
(素人が行うと取り返しのつかない時があるので、あくまでも最終的な手段です)
※すり傷などの軽傷で十分な対応が可能な症例以外は、あくまで医師の治療を受けるまでの応急処置と心得ておいてください。どちらか悩む時は、必ず医師の診断を仰ぐべきです。

○ 救急セットの準備

消毒液 傷口ばんそうこう 三角巾 包帯 ガーゼ テーピングテープ
湿布 生理用ナプキン とげ抜き 脱脂綿 抗ヒスタミン軟膏
虫よけ など



マダニ対策、今できること

1. マダニの生息場所
2. マダニから身を守る服装
3. マダニから身を守る方法
4. 忌避剤の効果

参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症
2) マダニのSFTSとは
3) マダニの生活環

マダニ対策に関するお問い合わせ

国立感染症研究所 微生物学部
Tel: 03-5285-1111 (代電)
Fax: 03-5285-1178
e-mail: info@nih.go.jp

SFTS対策全般に関するお問い合わせ
国立感染症研究所
Tel: 03-5285-1111 (代電)
厚生労働省 感染症対策推進課
Tel: 03-5253-1111 (代電)

1. マダニの生息場所

マダニは、民家の風山や風原、畑、あぜ道などにも生息しています。

マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が宿主する個体も多く生息しています。

2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

シャツの袖口は、裾や手袋の中に入れてみましょう。

シャツの裾はスポンの中に入れてみましょう。

足袋や草鞋などは、スポンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

半ズボンやサンダル履きは不潔です！

ハイキングなどで山林に入る場合は、スポンの裾に靴下を履きましょう。

3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、着の中に持ち込まないようにしましょう。

屋外活動後は、シャワーや入浴で、マダニが付いていないか、チェックしましょう。

ガムテープを付いたダニを取り除く方法も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日以上）の経過がある咬傷です。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り、化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、熱帯部には体の硬化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

4. 忌避剤の効果

海外ではマダニ対策に忌避剤(虫よけ剤)が使用されていますが、日本には、マダニ用に市販されている忌避剤は今のところありません。

日本では、ツツガムシ(ツツ目ツツガムシ科)を忌避する用途で、衣類に塗布して使用する忌避剤(医薬品)が複数市販されています。

このような予防剤を使用し、マダニに対して一定の忌避効果が得られることが確認されました。

ディート(忌避剤)の使用でマダニ付着数は減少しますが、マダニを完全に防ぐわけではありませんが、忌避剤を適切に塗り、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。

参考資料 2) マダニ媒介SFTSとは

重症熱性血小板減少症候群 (Severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)

これまで、中国、日本、韓国でSFTSの患者が報告されています。中国ではフタトチマダニとオウサンマダニからウイルスが検出されています。

ウイルスの潜伏期間は、マダニに咬まれた後から6日～2週間とされています。

2013年のSFTS患者は5月に多く発生しています。

性別	年齢	職業	7月	8月	9月
合計	33名	12名	21名	7名	5名
男性	21名	12名	14名	4名	5名
女性	12名	4名	6名	3名	0名
70代	6名	6名	9名	0名	0名
80代	9名	7名	10名	0名	0名
90代	3名	0名	0名	0名	0名

2013年1月1日以前に報告された患者(合計33名)は40代以上でした。

2013年は、西日本12都府県でSFTS患者が報告されています。

2013年11月1日現在報告された患者(合計33名)は40代以上でした。

参考資料 3) マダニの生活環

成ダニは、卵から孵化し、成ダニの宿主(シカ、イノシシ、野ウサギ、シカ、イノシシ)の血を吸って成長します。

成ダニは、シカ、イノシシ、野ウサギ、シカ、イノシシなどの野生動物や、ネコ、熊などのイヌなども吸血しています。

成ダニの多くは、春から秋(3～11月)にかけて活動が活発になりますが、冬も活動する種類もいます。

参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症

マダニは、世界中に800以上の種が知られています。そのうち日本には47種が生息しています。

マダニ科 (6属47種)

- マダニ属 Ixodes
- チマダニ属 Haemaphysalis
- キアラマダニ属 Amblyomma
- カウマダニ属 Dermacentor
- コイタマダニ属 Rhipicephalus (シママダニ属 Boreoglyphis科)
- ヒメダニ科
- ヒメダニ属
- カスネダニ属

マダニが媒介する感染症 (1) 例は病原体の種類

- 日本紅熱熱 (リケツチヤ)
- Q熱 (シカチヤ)
- ライム病 (シロヘー)
- ボレリア症 (細菌)
- 野兔病 (細菌)

重症熱性血小板減少症候群 SFTS (ウイルス)

ダニ媒介性脳炎 (ウイルス)

キヤアキル森林病 (ウイルス)

クリミア・コンゴ出血熱 (ウイルス)

..... など

主な研修活動の紹介

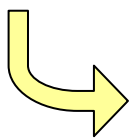
領域	活動プログラム	コース・会場	距離等	活動時間	可能人数	支援形態	季節・天候		
マリン活動	ペーロン漕艇	周辺海域	三ツ島コース	半日	20人程度×5艇	支援	通年・波浪次第		
	カッター漕艇	周辺海域	白神島コース		18人×5艇	支援	通年・波浪次第		
	カヌー	周辺海域	風車コース 湾内コース 等		2~3人×10艇	支援	通年・波浪次第		
	海水浴	3箇所のビーチ				自主	6月~10月が適		
	魚釣り	周辺の海浜				自主	通年・道具持参		
	磯観察	周辺の海浜	箱眼鏡18有	120分		自主	通年・干潮時が適		
野外活動	ハイキング	所外(佐敷城跡地)	約20キロ	一日		自主	通年		
	ハイキング	所外(女島メカソーラー)	約15キロ	一日		自主	通年		
	ビンゴオリエンテーリング	所内周辺		120分		自主・支援	通年		
	コンパスゲーム	所内周辺 4コース		120分		自主・支援	通年		
	所内ウォークラリー	所内周辺		40~90分		自主・支援	通年		
	館内ウォークラリー	施設館内		40~60分		自主・支援	通年		
	フォトウォークラリー	所内周辺 3コース		60~120分		自主・支援	通年		
	ナイトゲーム(肝だめし)	所内周辺 4コース		90~120分		自主・支援	通年		
	スターウォッチング	所内				自主	通年		
	夜の散歩	所内周辺		90~120分		自主	通年		
ニュースポーツ	フライングディスクゴルフ	グラウンド	6ホール	90~120分	50人程度	自主・支援	通年・雨天不可		
	グラウンドゴルフ	グラウンド	8ホール		50人程度	自主・支援	通年・雨天不可		
	ガガ	体育館・文化ホール	2セット		50人程度	自主・支援	通年		
	シャッフルボード	体育館・文化ホール	3セット		30人程度	自主・支援	通年		
	バタンク	体育館・文化ホール	3セット		30人程度	自主・支援	通年		
	ユニホッケー	体育館	2面		30人程度	自主・支援	通年		
	ドッジビー	体育館	2面		30人程度	自主・支援	通年		
交歓活動	レクリエーション	体育館・文化ホール		90分	300人	自主・支援	通年		
	キャンドルの集い	体育館・文化ホール			300人	自主・支援	通年		
	キャンプファイヤー	キャンプ場・グラウンド			100人	自主・支援	通年・風雨不可		
	ボンファイヤー	キャンプ場・グラウンド			40人程度	自主・支援	通年・風雨不可		
スポーツ	バレーボール	体育館	2面	団体の活動時間範囲内で計画する。	工夫して活動人数を調整する。	自主	通年		
	バスケットボール		1面			自主	通年		
	ミニバレーボール		6面			自主	通年		
	ビーチボールバレー		6面			自主	通年		
	バドミントン		6面			自主	通年		
	3on3	屋外コート	1面			自主	通年・雨天不可		
	ソフトボール	グラウンド	1面			自主	通年・雨天不可		
	ドッジボール	体育館	1面			自主	通年		
	ハンドボール		1面			自主	通年		
	卓球		4面			自主	通年		
	ミニサッカー	グラウンド	2面			自主	通年・雨天不可		
	健康体操	研修室・文化H・体育館				30~90分	100人	自主・支援	通年

創作活動	プラホビー	各研修室	60～120分	300人	自主・支援	通年
	ホワイトホビー		60～120分	300人	自主・支援	通年
	ホットホビー		90～120分	300人	自主・支援	通年
	流木ストラップ		60～120分	300人	自主・支援	通年
	切り絵		120分	200人	自主・支援	通年
	新聞紙エコバック		30～90分	40人	自主・支援	通年
	マイ箸作り	創作室・体育館	90～120分	80人	自主・支援	通年
	リース作り	創作室	90～120分	40人	自主・支援	11月～3月
	キャンドル作り		90～120分	40人	自主・支援	通年
	焼杉		120分	40人	自主・支援	通年
	ミニ焼杉		60分～90分	40人	自主・支援	通年

その他	講話	文化ホール、研修室		最大400人程度	自主	通年
	映写会				自主	通年
	コーラス				自主	通年
	吹奏楽	文化ホール ふれあいテラス			自主	通年
	コンサート				自主	通年
	書道	和室研修室			20人程度	自主
	茶道			自主		通年
	華道			自主		通年
	環境教室	各研修室			自主	通年
	水俣病学習				要講師依頼	通年

周辺施設

名称	住所	電話番号	備考
熊本県環境センター	〒867-0055 水俣市明神町55番1号	TEL 0966-62-2000 FAX 0966-62-1212	動く環境教室の依頼 施設見学
水俣市立水俣病資料館	〒867-0055 水俣市明神町53番	TEL 0966-62-2621 FAX 0966-62-2271	語り部依頼
塩むすび館	〒869-5305 芦北町田浦124	TEL 0966-87-2555 (御立岬温泉センター)	塩づくり体験(有料) (青少年の家への出前も可能)
芦北町立星野富弘美術館	〒869-5563 芦北町湯浦1439番地2	TEL 0966-86-1600	有料
芦北海浜総合公園	〒869-5454 芦北町大字鶴木山1400	TEL 0966-82-5588 FAX 0966-82-5589	有料 (一部研修料金有)



< 芦北海浜総合公園 >

- * 休園日：毎週月曜日（7、8月を除く）、年末年始（12月29日～翌年1月1日まで）
（ただし、月曜日が祝日又は祝日の振替日となる場合はその翌日）
- * ご利用時間 ●夏期（4月～9月） 午前10時～午後6時
●冬期（10月～3月） 午前10時～午後5時

☆ ローラーリ्यूージュ

通常料金 1回 高校生以上 400円 中学生以下 200円
 研修料金 高校生以上 600円 中学生以下 300円（5回以内もしくは2時間以内）
 ※ 事前のお申し込みが必要です。

（研修利用適応外期間：ゴールデンウィーク期間中、7月～8月の土日祝祭日、お盆周辺、シルバーウィーク期間中）

- ☆ ゴースト（1人乗り） 高校生以上 800円 中学生以下 600円
 （2人乗り） 高校生以上 600円 中学生以下 400円

※ 研修料金の設定はありません。



プログラムの作成について

1. 研修の目的を考えましょう

自然体験 集団活動 研修 仲間作り 親睦 等

- 学校や家庭で体験できないような活動を積極的に取り入れましょう。
- 年齢や体力にあった活動であるか考慮しましょう。
- 集団生活のマナーにも配慮しましょう。

2. 全体の流れを考えましょう

- ひとりひとりがリーダーとして活動できる場面や、仲間と協力する活動をできるだけ多く取り入れましょう。
- プログラムの単なるつなぎ合わせにならず、一貫した“めあて”を持って体得できるように心がけましょう。
- 研修場所や活動場所は、必ず事前の下見をお願いします。

3. 時間にゆとりを持って計画しましょう

- あしきた青少年の家の基本日課をベースに、ゆとりあるプログラムにしましょう。
- 雨天時のプログラムも必ず計画しましょう。

※ プログラムの内容は、青少年の家のプログラム以外に各団体で考えたオリジナルのプログラムでも構いません。

※ プログラムの作成で分からない時は、お気軽にご相談ください。

出前講座

出前講座は、あしきた青少年の家の職員が学校などに出向き、活動の支援をします。学級・学年行事や子ども会の行事などに活用できます。

申込み方法

- ① 利用日の一ヶ月前までに電話でお申し込みください。
- ② 「出前講座申請書」「出前講座計画書」を送付します。
(HPよりダウンロードも可能)。
- ③ 「出前講座申請書」「出前講座計画書」に記入し、青少年の家に送付してください。
- ④ 受付完了です。

活動内容

P20～21「主な研修活動内容の紹介」内のニュースポーツ、レクリエーション、創作活動などができます。

交通費

地域	料金
芦北町	500円
津奈木町	1,500円
水俣市	1,800円
球磨村	1,800円
八代市	2,000円
人吉市	3,000円

※指導員1名に対する料金です(金額は往復です)。

※その他の地域の方々もご利用いただけます。

料金は、お尋ねください。

不明な点がございましたら、お問合せください。

入所式

～ ね ら い ～

青少年の家の生活や決まりを理解し、活動への意欲を起す。

☆「入所式」の意義や役割分担等、事前指導を十分に行ってください。

☆「入所式」の進め方は、各団体の目的等に応じて計画してください。

☆入所式の進行は入所団体でお願いします。

＜入所式（例：約15分）＞	
1 はじめのことば	「これから入所式をはじめます。」
2 入所団体の挨拶 （校長・教頭先生等の代表者）	「〇〇先生のごあいさつです。よろしくお願いします。」 （終了後）「ありがとうございました。」
3 あしきた青少年の家挨拶	「あしきた青少年の家の職員のごあいさつです。よろしくお願いします。」 （終了後）「ありがとうございました。」
4 児童・生徒代表挨拶	「〇〇学校〇〇さんの代表のあいさつです。よろしくお願いします。」 （終了後）「ありがとうございました。」
5 おわりのことば	「これで入所式をおわります。」

入所式終了後のオリエンテーション（VTR）を行います。（20分程度）

退所式

～ ね ら い ～

青少年の家の生活を振り返り、思い出を新たにすると共に、今後の生活に生かそうとする意欲を持たせる。

☆「退所式」の意義や役割分担等、事前指導を十分に行ってください。

☆「退所式」の進め方は、各団体の目的等に応じて計画してください。

☆退所式の進行は入所団体でお願いします。

＜退所式（例：約15分）＞	
1 はじめのことば	「これから退所式をはじめます。」
2 児童・生徒代表感想発表	「〇〇学校の〇〇さんの代表感想発表です。よろしくお願いします。」 （終了後）「ありがとうございました。」
3 入所団体の挨拶 （校長・教頭先生等の代表者）	「〇〇先生のごあいさつです。よろしくお願いします。」 （終了後）「ありがとうございました。」
4 あしきた青少年の家挨拶	「あしきた青少年の家の職員のごあいさつです。よろしくお願いします。」 （終了後）「ありがとうございました。」
5 おわりのことば	「これで退所式をおわります。」

※団体の代表者は、退所式までに「利用団体アンケート・ルームキー」を事務室に返却してください。

朝のつどい

～ ね ら い ～

1日の始まりのけじめをつけるとともに、他団体との交流を行う。

☆朝のつどいは、宿泊者全員参加です。

☆実施時間7：00～7：20

☆晴天時：集いの広場、雨天時：文化ホール又は体育館

☆朝のつどいの進行係を希望される団体は、事前にご相談ください。(進行例：下記参照)

☆夕べのつどいは、実施しません。実施される場合は、各団体の自主活動となります。

実施する場合や準備物等が必要な場合は、事務室まで連絡してください。

<朝のつどい(例：約20分)>

- 1 はじめのことば(青少年の家職員)
- 2 国旗・県旗・所旗の掲揚(旗係)
- 3 ラジオ体操(体操係)
- 4 団体紹介(各団体代表)
- 5 誕生日者紹介
- 6 レクリエーション(青少年の家職員)
※レクリエーションは時間がある時のみ実施します。
- 7 おわりのことば(青少年の家職員)

朝のつどい 進行係のことば(例)

- 1 開会
「姿勢を正してください。おはようございます。〇月〇日〇曜日、朝のつどいを始めます。」
- 2 国旗・県旗・所旗の掲揚
「最初に旗の掲揚を行います。旗係、お願いします。帽子を取り、姿勢を正して旗に注目してください。」
「ありがとうございました。旗係に拍手をお願いします。」
- 3 体操
「体操を行いますので、体操ができるように広がってください。体操係は、前に出てきてください。」
「体操係にも拍手をお願いします。元の隊形に集まってください。」
- 4 団体紹介
「団体の紹介をお願いします。」(→ 各団体)
「ありがとうございました。」
- 5 誕生日者紹介
「本日、誕生日の方はいらっしゃいませんか？」
「誕生日の方は前へどうぞ。自己紹介をお願いします。」
- 6 レクリエーション
時間があれば、簡単なゲームで交流を図ることもできます。
- 7 閉会
「つどいが終わりましたら、団体ごとに連絡をお願いします。その場にお待ちください。」
「それでは、姿勢を正してください。これで、朝のつどいを終わります。」

マリン活動

～ ね ら い ～

乗員全員が力をそろえ（協力）、動きを合わせる（協調）ことの大切さを体感する。

☆研修艇利用時の活動は、原則として本所職員が直接支援します。

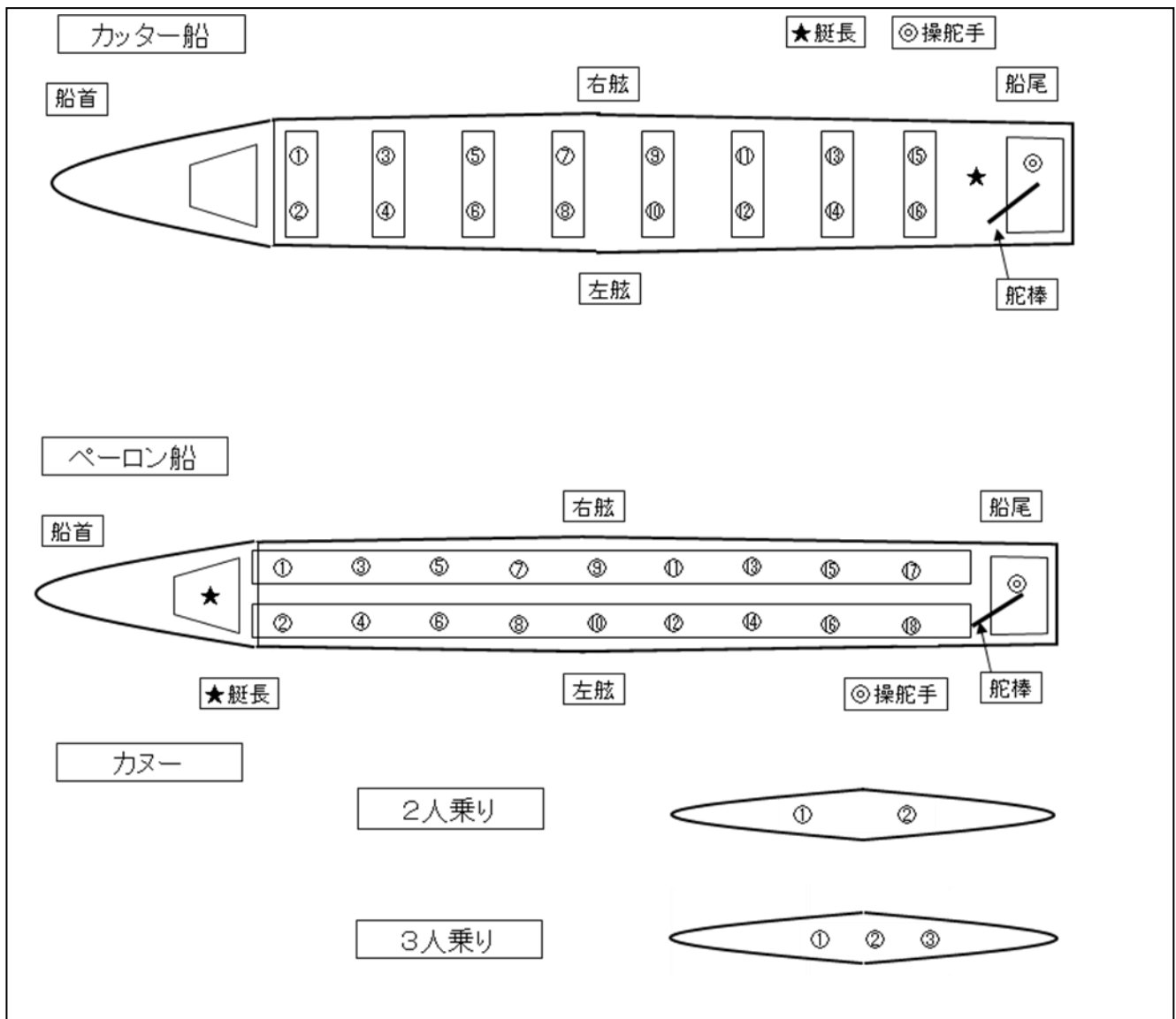
☆波浪、強風、雨天時は、気象条件により、実施できない場合があります。

1 研修艇（図参照）

☆ カッター船（ 5艇） 定員20人 中学生以上向き

☆ ペーロン船（ 5艇） 定員25人（高校生以上）30人（中学生）35人（小学生）

☆ カヌー（9艇） 定員2～3人



2 コース

- ☆ 風車コース（1～2時間）
- ☆ 白神岩コース（1.5～2.5時間）
- ☆ 三ツ島コース（2～3時間）
- ☆ 唐船岩コース（1.5～2.5時間）
- ☆ 湾内コース（1～1.5時間）

気象条件・乗員数・体力等により、ご希望に添えない場合があります。
研修は、半日単位で実施します。

※研修時間は、おおよその目安です。事前・事後指導を含みます。

3 準備物（利用団体）

- 濡れてもいい服（夏場は、水着の上にTシャツ可。日焼け防止には長袖が適、冬は防寒着。）
- 濡れてもいい運動靴又はビーチサンダル（かかと固定、ヒール不可）、帽子、タオル、水筒。
- カッター船・ペーロン船の場合は、軍手着用（まめ防止）。
- 小雨でも実施可能な場合もあるので、雨合羽（セパレートタイプが好ましい）を持参する。
- カヌーの場合は、水着（濡れてもいい服）、下半身は必ず濡れます。

4 引率者の研修前の取り組み

- 活動の目的を明確にし、研修者に伝えておく。→ 船を漕ぐ目的
- 乗員配分（研修艇図参照）と艇長（役割：元気づけ）・操舵手（役割：舵取り）の決定
 - ※艇長は、子ども・大人どちらでもかまいませんが、舵取りは大人の方のみとなります。
 - ※右舷・左舷の乗員は、体力のバランスを考慮してください。
 - ※ペーロン船の船首側は、海面まで多少高さがありますので、小学生の場合、身長の高い参加者が適しています。→ 2列縦隊背の高い順
- 研修者の体調管理を徹底しておいてください。

- ◎ 海（自然）を相手に、自分たちの力だけで立ち向かう活動です。自分勝手な行動は、その参加者のみならず、他の参加者にも迷惑であり、生命の危機にも陥ってしまう可能性があります。参加者一人一人が、目的意識を持って参加できるよう、確実な事前指導をお願いします。
- ◎ 体力的には、ハードな活動ですが、やり遂げた後の「達成感」「満足感」「一体感」は格別です。

5 活動の中止

- 研修海域の状況が、次のいずれかに該当する場合は、研修を中止します。
 - ①平均風速8m/s、瞬間風速10m/sの場合
 - ②視界が1km未満の場合
 - ③活動海域で白波が見られる場合
 - ④諸警報・注意報が発令されており、所属長及び事前会議で危険と判断した場合
 - ⑤台風の接近が予想される場合
 - ⑥海域状況から、所属長及び事前会議で危険と判断した場合

6 研修活動の流れ

過程	研修内容	備考
導 入 約 30分	1 艇庫前に、艇ごとに集合、整列（2列縦隊） ※研修者数確認 2 あいさつ 3 研修説明 ①研修の目的について ②安全上の注意（ライフジャケットの着用法など） ③漕ぎ方の説明 ・櫂立て、櫂入れ、櫂止め、櫂上げ ・櫂の持ち方、乗船・下船時の留意事項 ※艇長・操舵手の役割の説明	・利用団体ごとに整列 カッター船利用 → 艇庫前左側 ペーロン船利用 → 艇庫前右側 ※研修者数の確認 ・ライフジャケットのサイズは、体にフィットするものを選択
展 開 約 30分 ～ 2 時間	4 移動・乗船 5 離岸～研修 ①基本的な漕ぎ方の練習 ②体感プログラムの実施 ③競艇（レース）の実施 6 着岸・下船・移動	・櫂立ての姿勢 ・船縁（べり）を握らない ・艇長の号令及びドラに合わせて漕ぐ ・元気を出して漕ぐ ・櫂立ての姿勢
整 理 約 10分	7 櫂・ライフジャケットの整理 8 まとめ ※説明時の隊形 9 あいさつ・解散	・水槽で塩水を落として艇庫内に収納 ・ふり返りを行い、職員が講評を行う

7 留意事項

- ◎ 活動開始前と終了時には、研修者の点呼（人数確認）と健康状態の確認を、団体の引率者及び青少年の家職員で必ず実施。
- ペーロン艇、カッター艇、カヌーの活動は、年間を通して実施。
ただし、カヌーは、5～10月の期間が最適。
- 活動時間は、原則として午前9：30～12：00、午後1：30～4：00。
- マリン活動は研修時の天候により実施の可否を判断。態度決定はP27の活動中止条件を参照。
- 体力衰弱及び身体の異変等の症状がある場合は、活動を中止させるか、十分配慮をした上で参加させます。※「AED」常備：艇庫及び保健室（事務室横）
- ◆ あしきた青少年の家では、緊急時に備えて、海難救助連絡網を整備し対応しています。

キャンプ場利用について

1 利用申込みについて（通年利用）

本館利用に準じています。

2 施設

設営用テント（大人4人程度、小学生最大5人程度）：15張、ドーム型テント（4～6人用）：5張、三角型テント（2～4人用）：6張、ドーム式大型テント（10人用）：1張、営火場、炊飯棟、管理棟（温水シャワー室、トイレ、※身障者用トイレもあります）、つどいの広場

※キャンプベースには、単独の調理台（家電使用可）、テーブルが設置されています。

また、キャンプベース周辺には雨避けはありません。

3 収容能力

設営テント／80人程度

4 貸出用具

設営用テント（4～6人用）：15張、ドーム型テント（4～6人用）：5張、

三角型テント（2～4人用）：6張、ドーム式大型テント（10人用）：1張、シュラフ（寝袋）：75

飯ごう、炊事用具一式、食器（100人程度）、ドラム缶式バーベキューグリル（4台）

※全て無料にて貸し出します。

※炭は団体で準備してください。販売はしておりません。

5 使用料

P10「必要経費」参照

6 服装及び準備品について

① 活動にふさわしい服装で参加してください。

② 帽子・軍手・懐中電灯は、必ず準備してください。

③ キャンプファイヤーをされる団体は、トーチを持参してください。

< 準備物 >

雨具 タオル 帽子 着替え 軍手 毛布・タオルケット 洗面用具 懐中電灯

水筒 腕時計 新聞紙 ティッシュ マッチ ごみ袋 防虫剤 炭 洗剤

箸 布巾 キッチンペーパー 救急用品 その他活動に必要な用具等

7 利用上の注意

① キャンプ場内は、原則車両進入禁止です。駐車場に駐車後、歩いて入村してください。

② 食材等の搬入・搬出については、管理棟前まで車両進入可です。搬入・搬出後は、直ちに本館駐車場に駐車してください。

③ テント内は火気厳禁です（喫煙・蚊取り線香等）。

④ 各活動の後片付けは、団体で責任を持ってきちんと行ってください。（要最終チェック）

○ 調理やキャンプファイヤーの灰は、消火確認後、灰捨て場に捨ててください。

○ ゴミは全てお持ち帰りください。

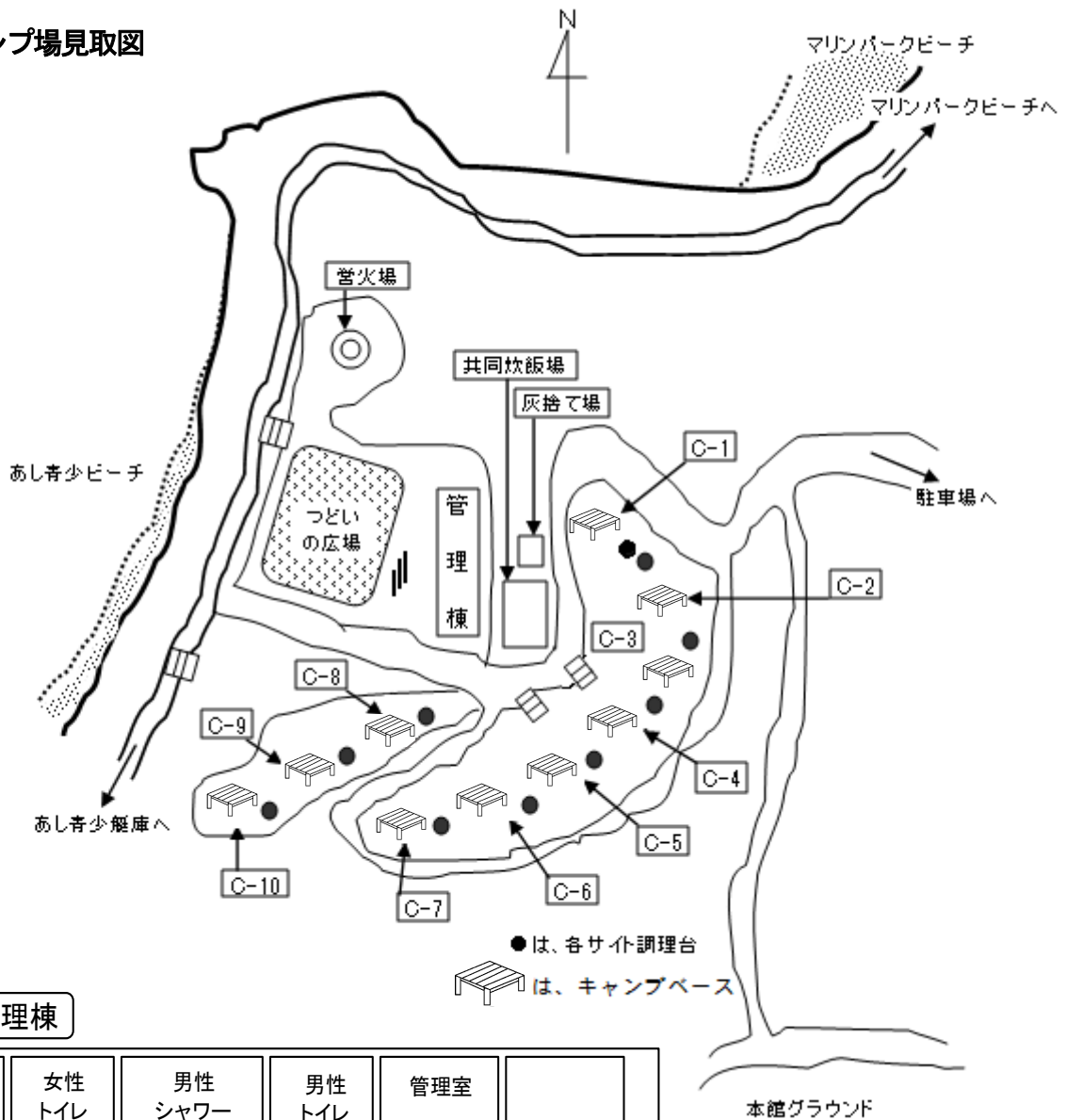
⑤ シャワー室使用の際は、外で砂を落としてからご利用ください。

⑥ 野外炊飯については別紙資料（野外炊飯について）をご確認ください。

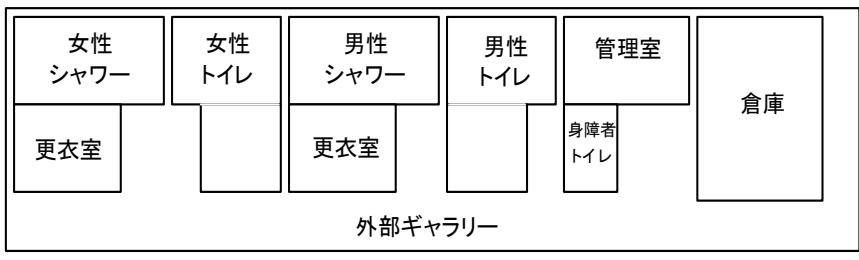
⑦ 食中毒防止のため、食材には火を通すようにしてください。なお、食材については施設周辺での購入をお願いします。購入先等不明な点は本施設までお問合せください。

⑧ 県立自然公園内のため海岸・キャンプ場内での花火は一切禁止です。

8 キャンプ場見取図



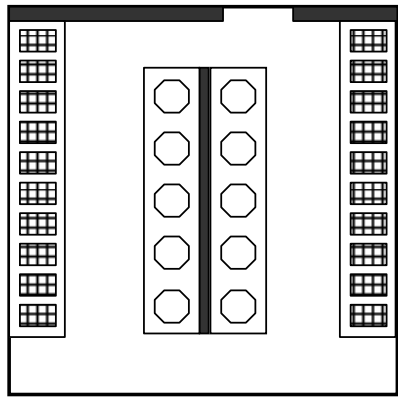
キャンプ管理棟



- ☆ 各シャワー
シャワー10本
- ☆ 倉庫
食料保存用冷蔵庫 2台

※冷蔵庫は2台ですので、クーラーボックス
をご持参ください。
同日に複数団体ご利用の場合は、共用して
いただくことがあります。

共同炊飯場



- ☆ 水道・洗い場 10
(○)
- ☆ 調理かまど 20
(■)

不審者対策

利用者の皆様に安心して本施設を利用していただくために、次のことにご協力ください。

- 1 入所団体の方は必ず名札をつけてください。食事中及び入浴後もお願いします。
遅れて入所されます方や活動の応援等でいらっしゃる方にも着用をお願いしています。
- 2 入所関係車両は、本施設が発行いたします駐車許可証を見えるところに提示してください。
駐車許可証のない車両は駐車されないようにお願いします。
- 3 本館前の駐車は、利用者の安全確保のためご遠慮ください。
- 4 活動や食事、入浴等で部屋を離れるときは、窓の施錠を確実に行ってください。
- 5 就寝時には窓の施錠をしてください。
- 6 宿泊部屋は部屋点検後、施設職員が施錠しますので、鍵を部屋点検時まで返却してください。
- 7 引率者及び活動協力者は、必ず本館玄関から出入りしてください。
- 8 不審者らしき者を発見された場合は、直ちに職員に知らせてください。
- 9 異常が発生した場合は、職員の指示に従ってください。

熊本県立あしきた青少年の家

(指定管理者) ひとつづくりくまもとネット・三勢共同体

代表 中川 保敬

「食」の安全を提供するために

本所では「食」の安全を提供するために、下記のことを利用者の皆様をお願いしております。ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

記

《食物アレルギー対応について》

- 食物アレルギー確認票を利用3週間前までにご提出ください。
- 団体での食物アレルギー担当者を事前に決めておいてください。
- 入所当日に食物アレルギーについて再度確認いたします。
- 食事時間の**15分前**に、アレルギー対応者と引率者1名（施設利用期間中の団体での食物アレルギー担当者）は食堂前に集合してください。当日の検食者と食堂職員も交えて、アレルギー対応について説明いたします。
- アレルギー対応食（除去食または代替食）を確実にご確認ください。
- 検食者の前で対応食を受け取ってください。
- 食事の際は担当者は食物アレルギー対応者と一緒に食事をお取りください。
（おかわり等での誤食を防ぐため）
- 他の入所者の食器等に、食物アレルギー対応者が触れないようにご注意ください。
アレルゲンに触れただけでアレルギーの症状が出る場合があります。
- 万が一、食物アレルギーの症状が出た場合は直ぐに事務室にお知らせください。

《食中毒防止及びノロウイルス対策について》

- 食中毒予防にもノロウイルス対策にも一番大切なのは手洗いです。手洗いを徹底させてください。
- 食事前は必ず石鹸で手洗いをさせてください。
食事前の手洗いの時は団体の方が手洗いの様子を見てください。
- ハンカチやタオルの使い回しはさせないでください。（ひとり1枚）
- 万が一、嘔吐した場合は、次のように処理してください。
 - ・処理用として、使い捨て手袋、使い捨てマスク、新聞紙、次亜塩素酸ナトリウム、ビニール袋を常備しております。処理には必ずお使いください。
 - ・処理に使った防具はすぐにビニール袋に入れて密閉してください。
 - ・食堂の場合…食堂職員にすぐに連絡してください。
食器等は別処分します。返却口には持ってこないでください。
 - ・部屋の場合…汚れた寝具はすべてビニール袋に入れてください。
 - ・処理中、処理後の換気をしてください。
- ドアノブ、蛇口、階段の手すり、ベッドの手すり、食堂のテーブルなどには本所職員が次亜塩素酸ナトリウムで定期的に消毒しております。
- 野外から帰ってきたときやトイレに行った後には必ず手洗いを徹底してください。

熊本県立あしきた青少年の家

(指定管理者) ひとつづくりくまもとネット・三勢共同体
代表 中川 保敬